

平成29年度江田島市行財政改革審議会議事録（意見概要等）

日時	平成30年3月28日（水） 10時00分～11時20分			
場所	江田島市役所4階403会議室			
出欠 (委員)	氏名	役職等	備考	出欠
	堂野崎 平	江田島市社会福祉協議会会長	会長	出席
	平田 圭司	江田島市商工会会長	会長職務代理者	出席
	胡子 雅信	江田島市議会総務常任委員会副委員長		出席
	吉野 伸康	江田島市議会文教厚生常任委員会副委員長		出席
	沖元 大洋	江田島市議会産業建設常任委員会副委員長		欠席
	來山 哲	広島県地域政策局市町行財政課長		欠席
	瀨中 繁美	江田島市自治会連合会会長		出席
	山下 忠子	江田島市食生活改善推進員協議会会長		出席
	三島 雅司	江田島市教育委員会教育長職務代理者		出席
	内村 浩	中国化薬株式会社江田島工場取締役工場長		欠席
	瀨松 由紀子	江田島市女性会連合会会長		出席
	足立 真司	広島銀行大柿支店長		出席
	仁城 靖雄	江田島市総務部長		出席
	渡辺 高久	江田島市企画部長		出席
(事務局)	明岳市長，土手副市長，矢野総務課長，越野課長補佐，道本行政係長，中田専門員			
傍聴者	なし			

次第
1 開会
2 委員紹介
3 議題
(1) 第3次江田島市行財政改革実施計画の進捗状況について（平成28年度）
(2) 事務・事業評価について
4 閉会

1 開会	
事務局	(委員の半数以上が出席（14名中11名）のため，審議会は成立)
市長	<p>今まで，平成18年3月に第1次江田島市行財政改革大綱を策定しまして，平成22年3月，そして平成27年4月に，5か年ずつの計画を策定しています。</p> <p>3年前の平成27年4月，会長からの答申書において，1つ目は江田島の将来都市像であります「協働と交流で創り出す恵み多き島えたじま」，この実現を図るための，これまでの行財政改革を引き続き行っていき，更なる事務事業の見直しが必要であるということ，2つ目が計画的な人材育成，職員の意識改革が大事ということ，3つ目には本審議会の設置目的が十分に果たされるよう，節目において，本会が定期的開催され活用されること，この3つが要望されておりました。</p>

市 長 (続き)	<p>本日の会議は、皆様で策定していただきました第3次江田島市行財政改革大綱の、平成28年度、平成29年度の進捗状況について、御報告、御説明をさせていただきます。</p> <p>今までこの行革に取り組み、皆様方と協力させていただいたことによって、江田島市の財政状況は、14年前に合併したわけですが、かなり好転していると思っております。</p> <p>合併直後の平成17年度の江田島市の借金は、一般会計・特別会計・企業会計合わせて、約355億円ありました。平成28年度には約247億円ということで、11年間かけて約108億円減少しています。貯金である基金残高は、財政調整基金と減債基金を合わせて、平成17年度は約16億円でした。これが平成28年度には約67億円となり、約51億円増額となっています。</p> <p>皆様とともに取り組んだ結果が、この数字に表れていると思っております。</p> <p>今後は、市民の皆様の安全・安心を図るための、消防庁舎・消防出張所建設があります。また、子育て環境の整備を図るため、認定こども園のうみ、あるいは子育て支援センターの建設も間近です。さらには、いろいろな事業がありまして、三高港ターミナルの整備や大柿公民館の改修など、様々な事業が目白押しです。</p> <p>多額の費用を必要とする事業がありますので、今後とも決して気を緩めることなく、前を向いて積極的に行財政改革に取り組みつつ、事業を推進していきたいと思っております。</p> <p>本市の行財政改革の推進のために、皆様からの忌憚のない御意見をいただき、市政に活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ御意見を賜りますよう、よろしく申し上げます。 (市長退席)</p>
2 委員紹介	
事 務 局	(委員紹介・事務局紹介)
3 議 題	
(1) 第3次江田島市行財政改革実施計画の進捗状況について (平成28年度)	
会 長	<p>このたびは資料の送付がなかったということで、事前に内容等について検討される時間がなかったと思います。見てもなかなか難しいところを、送ってこれられないので、私もどうなっているのかなと思っておりました。</p> <p>市の関係の会議がたくさんあるのですが、先日も福祉関係の会議で、当日、膨大な資料をいただいたということがありました。</p> <p>最近、市の方も忙しくて、資料の送付とかいろいろなことが滞っているのかなという思いがするのですが、それではいけないので、資料は事前にしっかり準備して、送ってほしい。そういったところから改革をしないと、なかなかうまくいかないのではないかと、私は思います。</p> <p>それでは今日の議題でございますが、議題1の「第3次江田島市行財政改革実施計画の進捗状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	(資料1-1及び1-2により説明)
会 長	事務局から説明をいただきました。皆様から御意見、御質問等がありましたら、よろしく申し上げます。

委 員	<p>資料1-1の2ページ目ですが、昨年の行財政改革審議会の資料とほぼ同じことが書いています。前年度比較という意味ではどうなのかというところがあります。</p> <p>それと、2ページの24番、アウトソーシングの積極的な利用ということで、アウトソーシングの検討ができる事業のリストアップを行いましたということですが、いったいどのくらいの事業数がリストアップされたのか、アウトソーシングの方向に向かうかどうか検討された中でのリストアップだと思うのですが、どういった事業があるのか、説明いただければと思います。</p>
事 務 局	<p>1ページに28年度の取組内容について記載しており、人口減少傾向の改善に果敢に挑戦した積極的な予算によるものという記載をしています。</p> <p>中身については前年と大して差がないような感じがあるかもしれません。記載が不十分で申し訳ないのですが、28年度は本庁移転の年であり、その職員構成の変化などによって、削減効果が若干ありました。それから小中学校の適正配置で、中学校の空調工事を行った関係の差額が2千万円ほど入っております。</p>
委 員	<p>そちらの1ページの説明ではなくて、アウトソーシングのリストアップでどれくらいの数の事業をリストアップされたのかということをお教えいただきたい。</p>
事 務 局	<p>数の方は、資料が間に合っていないのですが、業務としましては、窓口の方で戸籍抄本や印鑑証明等の発行等のところがアウトソーシングできるのではないかと。同じく許認可のところでは、税の賦課や農地転用の許可等のところがアウトソーシングできるのではないかと。総務課の方でも、給与のところができるのではないかと。リストには挙がってきております。件数の方は後ほど回答いたします。</p>
委 員	<p>わかりました。今と同じページですが、11番の公共施設の再編整備の推進というところで、それぞれ市民センターや交流プラザを改修した、また利用者の少ないところは廃止したということです。</p> <p>できれば委員の皆さんにも、丁寧な説明という意味では、どこの施設かということを含弧書きするとか、昨年は、交流プラザのところていくと「宮ノ原地区」「深江地区」というふうに表記していただいております、廃止した集会施設は「大君地区」と書いておりますが、今回この部分が括弧書きされていないので、委員の皆様も、どの施設が運用開始したのか、どの施設が廃止されたのか、ここは丁寧な説明があるかと思うのですが、どういったところがあるのかお示ししていただければと思います。</p>
事 務 局	<p>資料1-2の12ページの方に、こちらに関するものが掲載しています。</p> <p>28年度のところで「集会所廃止調整」というところに「西沖集会所」、再編のところて「深江交流プラザ」「宮ノ原交流プラザ」「沖美市民センター」となっています。</p>
会 長	<p>他に御質問、御意見等はございませんか？</p>
委 員	<p>資料1-1の「29年度の財政効果額」ということで、これは今までも財政効果額ということ審議会にお示しいただいていると思いますが、この財政効果額</p>

<p>委 員 (続き)</p>	<p>というのは、何かをしてコスト削減できましたというのが「財政効果額」という認識でいるのですが、今までの表記の仕方というのが、予算の増減、トータルの部分だけのような感じもして、何がその努力・改革によって削減したかというのが見えない。</p> <p>例えばこの「増額になった理由」として、「市議会議員選挙に伴う公費負担の増」というのは、これは4年に1回、必ずあることなので、ここはいくら行財政改革しようとしても、減らない金額です。そこを積み上げていくというのはどうなのかというのはあります。</p> <p>通学定期補助などは新規事業で、果敢にチャレンジした明岳市政の取組ですので、財政効果額という範疇ではないと私は思うのですが、いかがですか？</p>
<p>事 務 局</p>	<p>まことに申し訳ありません。効果額というところでお示ししたかったのですが、そもそもの作りが「予算書ベース」で作っているところがあり、事業費ごとの表になっていました。</p> <p>今年度は明岳市政になり、「人口減少に果敢に取り組む予算」ということで、積極的な予算となっていますので、各所で予算増となっています。その部分は行財政改革の部分とは外して計上するのが、私どもも当然だと思っていたのですが、そうなると思ってくる金額がまた過去に遡ってくるもので、この表では精度が悪くなってしまって申し訳ないのですが、過去から積み上げたものの金額で表記させてもらいました。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>行財政改革実施計画は、元々予算を使った作りであったということで、非常に分かりにくいものになっているのですが、今回、進捗を見ていただくということで、どうしてもそれがベースになってしまっているところがあります。</p> <p>今の資料1-1の下の表のところの上から3つ目、「保育施設の再編・整備」のところなんですけど、ここも分かりにくいということで2段書きをしています。「保育施設の再編・整備 304,416」という数字が入っていますが、これだけを見ると単純に去年よりも3億円事業費が増えて、全然効果が上がっていないではないかということになってしまうのですが、建設費用を除いてみると、実は保育の運営費だけを見ると1千4百万円減額していますということで、少しでも分かるような格好にさせていただいています。</p> <p>ただ、委員がおっしゃるように、分かりにくい作りになっていますので、資料の作成については今後検討させてもらいたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>わかりました。来年度も積極的な投資があるじゃないですか、消防庁舎で10何億も使いますし、認定こども園のうみにも何億も投資します。そうしてみれば、同じ手法でやってしまうと、毎年増額、増額、増額となってしまうので、それは…。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>一番大事なところは、実は人件費などの部分でも、合併当初520人余りいた職員が、今362人なんですけど、この辺りの財政効果というものが、全く行財政改革実施計画の方には出ていないので、そういったところも見えるような格好でやっていきたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>是非工夫してください。よろしくお願いします。</p>

会 長	<p>私も資料を見て、なかなか理解しにくいところがあるので、例えば人件費はどのくらい削減できたか、そういったものをもう少し詳しい資料を出してもらえばありがたいかなと思います。</p> <p>今年が3年目ということですが、今、効果があった事業等については2つほど言われたと思うのですが、あまり効果がなかったとか、できていなかったとか、ここは問題があるんだということがあったら、事業の内容等について説明をいただきたいと思います。</p> <p>たくさんあるので、なかなかこれとあれと…とはならないと思うのですが、書いてあるものが全部うまくいっているとは到底思わないので、これはちょっとどうかというものがあつたら、説明していただければと思います。</p>
事 務 局	<p>強いて言うなら、資料1-2の18ページ、22番の「補助金の抜本的な見直しの検討」というところで、取組事項で「会長の負担軽減をするために補助金の換算方法を見直し、充実を図った。」とありますが、なかなか全ての事業の補助金についての精査が行き届いていなくて、補助金を整理して削減するというところにまでは至っていないのではないかと考えています。</p>
委 員	<p>実施計画の15ページ「総合計画の推進」ということで、総観光客数が70万人となっております。恐らく第2次総合計画の最終目標が「総観光客数100万人」という中で、行財政改革は5か年の計画なので、最終的に10年後は100万人だけでも、5か年では70万人を目標に設定されているということで、よろしかったでしょうか。</p>
事 務 局	<p>そうです。</p>
会 長	<p>他にはございませんか？それでは意見がないようですので、(2)の事務・事業評価について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>次の項目に入る前に、先ほどのアウトソーシングの件数のことを説明します。</p> <p>トータルで言うと、各担当課から15ほど挙がってきており、例を挙げると、あくまで担当課の意見であり決まったものではないのですが、放課後児童クラブやスポーツ少年団など、そういったものが民間の団体等にお願ひできないかということが挙がっています。あと、社会体育施設もありますが、こちらの方も何とか民間の方に、指定管理などを取り入れてお願ひできないかという思いでいます。</p>
委 員	<p>担当課から出ているのが15事業ということで、今の話を聞いていると、放課後児童クラブやスポーツ少年団は事務で、社会体育施設、運動公園などは指定管理制度によるところだと思うのですが、リストアップされたということは、それをアウトソーシングすることによって、一定の財政効果、いわゆる支出が削減できるということでリストアップされると思うのですが、15の事業でおよそどれくらいの財政効果を望むというふうに、担当課は判断されているのか、教えてください。</p>
事 務 局	<p>まだ財政効果というところまでは至っておらず、項目出しをした段階です。この15の中で少し動き出しがあるかなというのが、市営住宅の指定管理者制度で、そこら辺の項目が大きい金額的な効果は期待できるものと思っています。</p>

(2) 事務・事業評価について	
会 長	それでは2番の説明をお願いします。
事 務 局	(資料2により説明)
委 員	まず教えてほしいのが、事務・事業評価でこのたびお示ししてもらっているのが252の事業です。昨年までは251だったかと思いますが、1事業は何が増えたのでしょうか？
事 務 局	事業は、増えたものがあれば、減ったものもありまして、1差が出ているようにはなっているのですが、もう少し異動がありまして、2事業くらいあります。
委 員	そうしたら、トータル差引きでは1プラスだと思うのですが、何事業廃止して何事業新規があったのか、そこを教えてくださいませんか。 恐らく昨年もこの事務・事業評価結果が示されていますよね、これを見ていくと減ったのと増えたのが分かるのですか？
事 務 局	はい、申し訳ありません。
委 員	事務・事業評価シート、今回は記入例ということで、昨年よりぼかした形で出しています。 252事業ですが、実際にそれぞれの担当課が、これと同じものを作っているのかどうかということなんですが、総務部長の話からいくと、目標設定の数値とか、そういったものがなかなか設定しにくい、若しくは日々の仕事でマンパワーを割くことが難しい、そういったもので、なかなかそれを表に出せないような、実際にシートは27年度にこういうものを作るということで、28年度からスタートしていると思うのですが、29年度も終わろうとしています。本当に担当課として、しっかり記入したものができているのかどうかというのは、確認が取れていますか？
事 務 局	シートは各担当課から、252事業全て出しています。 今言われたような、成果指標の設定方法が、それぞれの部署でまちまちではあるので、その辺の統一が成されないところが、部長から回答させてもらったのですが、公表できない部分であって、まだ総務課の方で研究しなければならないところだということなんです。
委 員	昨年の審議会においては、ゆくゆくはこの事務・事業評価シートを公にできるよう検討しますと、はっきりと事務局はおっしゃっているのですが、この1年間、どのように市として行財政改革に取り組んできたのかということをお話できる部分でいただければと思います。
事 務 局	一般質問で回答したとおり、マンパワーが不足して、総務課も人員はそのままですが、業務は昨年度よりもまた増えており、行財政改革、先ほどの実施計画にしても、この事務・事業評価にしても、なかなか中身を充実したものに、精度を上げていくことに、時間を費やすことができませんでした。公表できるように頑張ったのですが、そこに至らなかったということで、申し訳ございません。
委 員	平成27年の会議に出ていますから、その頃からお願いしているところです。 第2次財政計画というのがあって、昨年6月に見直しをされて、5か年の計画の中で21億円の財源不足というふうになっています。この第2次財政計

<p>委 員 (続き)</p>	<p>画においては「事務事業評価におけるPDCAサイクルにより、評価・点検を行い、評価・点検を踏まえた事業の見直しや課題などを検討し、効果的な事務事業へと改善を図る。」ということがあり、そして「民間委託の一層の推進」、先ほどアウトソーシングの話もしましたが、これもやはり基本的には、事務・事業評価シートにより、費用対効果を検証するということです。</p> <p>結局、事務・事業評価の精度如何によって、アウトソーシングの問題にしても、財政計画の問題にしても、全てリンクしているわけです。</p> <p>そういった意味では、マンパワーという話もありますが、それなら逆に行政評価なんか目標にする必要はないじゃないかという議論になってしまいます。それがそんなに面倒くさくて、職員に負荷をかけるものであるならば、「本当に必要なの?」と、逆に一般の市民の方は思ってしまう。そこら辺をどういうふうにやっていくのかというところなんですよね。</p> <p>それと、評価シートのAからEの評価の中で、これが何でAなのかBなのかというのが、全く我々、ここにいらっしゃる方も分からないし、議会も分からないし、市民の皆さんも分かりません。第2次行財政改革の進捗状況、今日お手元にいただいておりますが、これをホームページで公開しているから、市民はこれで検証することが可能と、市の方はおっしゃるのですが、これを見ただけでも、何をどう評価していいか分からない。</p> <p>やはり「見える化」ということは、すごく大切だと思いますので、そこら辺のところの検討も、今後もお願いしたいと思います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>事務・事業評価をやる意義としては、行政運営の効率化や職員の意識改革というところで、まずやらせていただいております。</p> <p>それを、財政計画で21億円の財源不足になっているところで、どうつなげていくかというところですが、これは外部にはお示ししていないのですが、予算編成のときは、財政課がヒアリングを行っております。小さい組織なので、相手が見えるヒアリングになっているのですが、そこら辺で予算は計上させてもらっていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>今の件で、事業評価に関して、昨年、内部で点数を付けられるという説明があったのですが、第3者のような人が入って、チェックに加わるというような、チェック機能があればどうかというお話をした経緯があります。</p> <p>それをしているのかというところもありますが、この事業評価について、どういう方向になっていくのか、現状、お答えできる範囲があれば、昨年に引き続き、お答えいただければと思います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>事務・事業評価につきましては、現状、内部評価ということでさせていただいております。それを外部委員にお願いするということになってくると、委員の報酬など財政的のところも出てきますので、その辺も検討させていただきながら。</p> <p>事務・事業評価もですが、行財政改革のところも、ホームページで公開するようになりたいと思います。その辺で、市民の方へは、ホームページで意見を募ることはできますので、そのようにやらせていただきたいと思います。</p>

委 員	今の関連した質問ですが、評価するのは各課1人でやっているのか、何人でやっているのか、その課全体でやっているのか、評価する人は決めているのか、課長が評価しているのか、そこらを教えていただきたい。
事 務 局	事務・事業評価シートは、まず担当者が作ります。それを上司が順番に、部長まで見て判断しているところです。
委 員	最終的には、各部長のところで判断されているのですね。分かりました。
会 長	この評価をすることに対して、皆さんが負担に思われているということはないでしょうか。仕事が増えて、というような…。
事 務 局	率直な現状を申し上げますと、事務・事業評価シートを作成することについて、職員は負担に思っています。 評価はあくまで自己評価で、これの目線合わせというのが、まだ中でできていないところがあり、生煮え的なところもあります。それで出しにくいというのも現実です。 外部の方に入ってもらって実際に評価をするということになると、職員の更なる張り付けや、予算の問題も出てきますので、今はそこまで至っていないというのがあります。引き続き検討させていただきたいと思います。
会 長	評価をするということは非常に大事だと思うのですが、それが負担になり、例えば今日の資料があらかじめ送ってこないだとか、そういうことになると、根本的なところが問題になると思います。そういった点は、市でどのようにお考えですか？
事 務 局	先ほどの行財政改革実施計画にしても、事務・事業評価にしても、件数が多いのではないかと、私どもは率直に思っております、ある程度事業を絞って検討させていただきたい。 今の第3次の行革の方ではもうシートができておりますので、これをこのままいかせてもらいたいのですが、次のときは、その辺はある程度事業を絞って、やらせていただければと思っています。
委 員	外部評価はやはり必要になってくると思います。市役所の中で事務・事業評価シートを作成しながら、担当の課員が評価し、課長が評価し、部長が評価する。そこでできたものにおいてAからE、Eはこれからやる事業なので、実質的にはAからDという評価になりますが、そうなるとうとうしても、自分の課がやっている事業なので、ちょっと甘く設定する可能性があるし、目標設定の仕方も、自分たちに甘くなってしまいがちだと、私は思います。 秩父市では、人口6万5千人の町で、職員数が481人です。その中で、事務・事業評価シートは、千5百件作っています。江田島市は252事業ですよ。秩父市は関西学院大学の教授に外部評価してもらっています。 私が言いたいのは、第2次行財政改革のときに、行政評価しなければいけないと言いながら5年間で過ぎ、第3次で行政評価において、事務・事業評価シートを使っていこうと、平成28年度からスタートしました。ただ、現状は内部だけで、外部市町から情報をいただきながらシートを作ったと思いますが、それは手作りのものなので、そこは外部で、時間と経費がかかると言われましたが、やは

委 員 (続き)	り目的は何なのか、目的は財政計画を作ったり、総合計画を推進していくに当たっての事務・事業の見直しの手法として、事務・事業評価シートを取り入れた訳なので、本来の目的である「ワクワクできる島 江田島」を作るための施策をしていくための、土台の見直しをしていく大切な手法なので、ここはお金をかけてでも、作っていくべきではないかと思います。
会 長	委員が言われたことも、少し検討してみてください。他にございませんか？ 事前に資料の配付がなかったので、皆さん意見が出しにくいと思うのですが、何かございましたらお願いします。
委 員	沖美は公民館の調理室をリフォームしたが、ものすごく流しが小さい。中町の元の市庁舎に調理室を作ったが、それもまた小さいからと言ったら、大きな流しをポンとつけたんです。 ああいう何かをするときに、女性の意見を入れてほしいんです。全く関係ないことで申し訳ないのですが、そこを使うのに女の人の意見を、例えば私たちでは親子の料理教室などで 5～60人集まることがあります。そのときに、小さいとどうにもならない。 2年後に鹿川がやるんですよ。そのときは意見を聞いてください。
会 長	他に御意見ございませんか。もう少し広い意味でも、全体の行財政改革についてでも良いです。
委 員	2年位前ですかね、職員の資質を上げるために、職員の評価を行うということでしたが、それは今どういうふうになっていますか？
事 務 局	人事評価は順調に進んでおり、「能力評価」と「業績評価」の2本立てで進めています。人材育成型ということで、職員が良い仕事をするためにどんな行動が必要か、本人に気付いてもらって、気付くということは能力開発につながりますので、自主性を引き出すということで、そのような取組で人事評価をしています。 今は全職員を対象に行っています。
会 長	職員の意識改革というところで、3月11日に防災訓練がありましたよね。ああいったときに市職員の参加が非常に少ないと思うのですが、意識改革をしてもらいたいと思います。市民の方が皆さん協力してやっている中で、用事がある方は別ですが、同じ町にいてもほとんど出てこない。 私は、防災訓練のときに市職員が出てくるのをあまり見ないので、そういった周知とか、職員に参加を呼びかけるとか。市の職員ですから、災害があった時には、当然率先して参加するわけですよ。参加というか、事業を推進していくわけですから、そういったときのためにも、市の職員が出てこないというのは、いかなものかというのを、最近時々思います。 市外に住まれている方でも、市民の皆さんが参加するので、ボランティアにはなりますけれども、出てもらいたいんです。私は他所へ住んでいるから関係ないということではないと思います。そういった意識改革ですよ、自分たちも江田島市のために働いているだという意識改革を、もう少し進めてもらいたいと、いつも思っています。

事務局	<p>その辺につきましては、市長がよく申ししておりますが、「江田島市の宝と言え ば職員だと言ってもらえるような職員にしていきたい」ということで、研修費の 予算の方も27年度に比べると倍の予算を計上しております。</p> <p>防災訓練の話は、自分の住んでいる町ですので、その辺の参加が少ないとい うことであれば、自分の住んでいる町が好きになって、職員が自ら進んで参加す るような人材の育成を、こちらでも研修を通してやっていきたいと思えます。</p>
委員	<p>行財政改革の進捗状況の23ページ、ここにアウトソーシングの一環である 指定管理者制度というのがあります。</p> <p>1番下の観光振興課のところで「切串シーサイドハウス」というのがありまし て、この進捗状況は毎年皆さんのお手元にあると思いますが、実は指定管理者制 度が平成30年度で廃止になります。元々、アサリの養殖などを検討されていま したが、なかなか思うようにいかなかったということで、実は江田島市が私有地 を年間152万円ですとずっとやっていた。建物を壊すということで、1千8百 万円壊す予定になっています。</p> <p>先ほどの事務・事業評価も、公にするということがすごく大切です。</p> <p>指定管理者制度においては、交通船事業が指定管理者制度を利用して、瀬戸内 シーラインが5年間かけてやるということですが、しっかり収支を皆さんに公 表しています。一番初めに説明がありましたが、効果が上がった事業というこ とで、年間3千万円の黒字を確保しました。しかも、その収支を公にしているん です。ホームページでも公開しています。</p> <p>それ以外のところは公になっていないので、市民の皆さんの財産を有効活用 していただくためには、収支はきっちり出しておかなければならない。</p> <p>皆さんも記憶にあると思いますが、能美海上ロッジ、シーサイド温泉のうみ、 そしてサンビーチおきみ、この3施設は、能美海上ロッジは閉鎖しておりますけ れども、この3施設で年間1千万円を超える指定管理料を、事業者の国民休暇村 サービスにお支払いしております。儲かればその半分を市に納付するという契 約になっていますが、収支が分からない。ほとんど赤字だったが、毎年1千万円 はお渡ししているんです。このたび「魅力ある観光施設の整備事業」のこ とで、ようやく我々も収支を見ることができたんです。そうすると、平成27年度 は129万円儲かっている、そのうちの半分の69万円が市に納付されました。 こういうのは、我々が聞いて初めて分かるんです。</p> <p>市民の皆さんの財産なので、指定管理者の方がきちんと運営して、儲かっている、 儲かっていないということを、一般市民の皆さんにお知らせしなければいけ ないと思っています。こういったものを見せることで、市民の皆さんが「この施 設、こうすればいいのに」と、アイデアを逆にくれると思うんです。そうい ったことで、江田島市全体、市民の皆さんを含め、オープンにできる場所はオー プンにしてもらいたい。これこそまさに、行財政改革の1つの手法だと思うので、 是非お願いしたいと思えます。</p>
事務局	<p>今のお話は、2月議会でも指定管理者制度のことを御質問いただき、モニタリ ングの結果を公表してくださいということで、部長の方から、市長からも、結果</p>

<p>事務局 (続き)</p>	<p>については公表していきますということで答弁をさせていただいています。</p> <p>先ほどありましたように、中町航路につきましては、27年10月から指定管理者制度になり、1年目が約3千5百万円の収益、2年目が2千5百万円の収益がありました。こちらの方は詳しく情報を公開しているのですが、それ以外のものについては、そこまで至っていないということで、御質問いただきました。</p> <p>ここについては繰り返しになるのですが、また市民の皆さんに分かりやすく公表していきたいと考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>他にございませんか？</p> <p>年に1度しかないのので、思い出すのに時間がかかり、こんなことで良いのかなという思いはすごくあるのですが、年に最低2回くらいは開いてもらい、進捗状況を聞きたいと思うのですが、それは市の方にまた検討していただきたいと思えます。</p> <p>それではないようですので、本日の議事につきましては終わりたいと思えます。</p> <p>事務局にお願いですが、何度も言いますが、資料についてはできるだけ早めに、そしてもう少し丁寧な分かりやすい資料に、数字で表せるものは表してですね、お忙しいでしょうが、もう少し工夫してもらって、委員の皆さんもほとんどの方が専門家ではないので、意見が言いやすいような、分かりやすい資料をつけて、次からは臨んでいただければと思います。どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、事務局にお返ししますので、事務局でよろしくをお願いします。</p>
<p>4 閉会</p>	
<p>事務局</p>	<p>会長、ありがとうございます。</p> <p>会長からもありましたように、資料の送付が今回できなかったことは、大変申し訳ございませんでした。</p> <p>以後は、資料の中身も会長が言われたように、丁寧な分かりやすい作りにして、皆さんに事前に資料をお渡しして、この場で活発な意見をいただければと思います。本当にまことに申し訳ございませんでした。</p> <p>それでは閉会に当たりまして、副市長から挨拶をいただきます。</p>
<p>副市長</p>	<p>本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。また多くの貴重な提言、御意見をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>まず、会長の方にも、皆さんにも、お詫び申し上げなければならないのが、当日配付ということで、十分な議論ができないというような状況になりました。深くお詫び申し上げます。</p> <p>それと、皆さんの意見の中でありましたように、資料の作りが、行革の成果のあった部分や、なかなか進んでいない部分が、なかなか見えてない資料になっています。次回の資料につきましては、そこらのところをしっかりと検討して、皆さんが活発な議論ができるように、御提示させていただきたいと思っております。</p> <p>資料提供につきましては、この会議だけでなく、市全体のいろんな会議がある中で、「事前配付」ということにつきましては、徹底させていただきたいと考</p>

<p>副市長 (続き)</p>	<p>えています。これもやはり行革の1つの効率化の部分で、皆さん、せっかく貴重な時間にお集まりいただいているのに、御意見をいただくことがなかなかできないというのは、効率化になっていないということです。十分真摯に受け止めて、今後対応させていただきたいと考えています。</p> <p>事務・事業評価についてですが、申し訳ないのですが、まだ試行的な段階です。先ほど言いましたように、なかなか中身が、熟度が上がっていないところがありまして、まずこれを江田島市として取り入れてやってみて、果たしてどういったメリット・デメリットがあるのかという部分が、まだ検証ができていません。まだこれよりも違う方法があるかも分かりません。それぞれの自治体の大きさとか規模とかによって、いろんな制度を取り入れて今の検証をやっていくという部分もありますので、事務・事業評価の部分につきましてはもう少し検討させていただいて、次回までにはどういった形で今後やっていくかということをもたお示しさせていただきたいと考えています。</p> <p>本日いただきました貴重な御意見につきましては、今後の見直しや改革に反映させていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願ひします。</p> <p>本日はまことにありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは以上で平成29年度江田島市行財政改革審議会を終了いたします。 委員の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。</p>